

# ソーシャルビジネススタートアップ資金(助成金) 社会起業家等応援事業 助成対象者が決定

少子高齢化の進展や、長引く不況の中で、子育て・福祉・環境等の社会的課題は多様化・複雑化しています。

これらの社会的課題を、ビジネスの手法で解決し、暮らしやすい社会の実現や雇用の創出などが図られる事業を新たに開始する事業者、NPO、事業転換を図る事業者の皆様を対象に、スタートアップ資金を助成する「社会起業家等応援事業～助成金制度～」を平成21年度から実施しています。

このたび平成23年度のプラン募集・審査を行い、14件の応募の中から3件が助成対象に決定しました。

助成対象者は今後、(財)横浜企業経営支援財団や横浜市による支援策を活用するなど、1年以内の事業開始に向けてスタートします。

## 決定者(順不同)

団体名・代表者名	プラン内容
ムイットボン！ 上田 尚矢 (横浜市南区)	『ワークショップで福祉作業所の課題解決』 「障がい者は実は個性なのでは？」という着想から開発したワークショッププログラム及びワークショップキットを販売・実践をすることで、障がい者の能力・自主性を育て、また福祉作業所を地域や企業とつなぐことで、作業所の課題解決を行う。
特定非営利活動法人 陸 小山 浩司 (横浜市栄区)	『生きる喜び、命の尊さを多くの人々に投げかけてゆく社会福祉事業』 高齢者の通所介護支援及び居宅介護支援を柱として、子育て支援、障がい者支援も含めた、従来の枠を超えた「居場所づくり」を通して、生きる喜びといのちの尊さを多くの人々に投げかけてゆく。
加藤 琢真 (東京都中央区)	『医療格差への挑戦～国際保健と地域医療分野の人材育成と人材紹介を通して～』 国際都市横浜に拠点を設置し、国際保健分野、地域医療分野で活躍できる保健医療人材の育成事業及び医療過疎地域にある病院への人材紹介事業を通じ、横浜から発展途上国(アフリカなど)や日本国内(東北、九州、離島など)の医療従事者偏在の是正を目指す。

## 【募集概要】

### 1 対象事業

横浜市内で、子育て・福祉・環境等の社会的課題をビジネス手法で解決する事業

### 2 対象者

上記対象事業を新たに開始する、または対象事業への事業転換等の具体的な計画があり、交付の決定日から1年以内に市内に事業所等を持ち、確実に事業を開始する方で、申請プランの事業開始時点において下記の組織形態の基準に該当する方

### 3 組織形態

常勤者が1名以上で、中小企業基本法第2条で定義された中小企業及び収益をともなう事業型NPO

### 4 助成額など（概要）

\*申請時に助成金と利子補給のどちらかを選択

	助成金	利子補給
上限額	上限200万円	上限200万円
助成内容	助成対象経費の1/2以内	金利5%を上限とし最長3年間適用 (売り上げ不問)
条件	前年度売り上げ1億円未満の事業者	*融資を保証するものではありません

### 5 審査基準

社会性、事業性、革新性の3要素について、有識者で構成される審査委員会で審査します。

### 6 スケジュール

- 10月12日(水) 募集開始
- 11月11日(金) 17時必着 応募締切
- 12月12日(月) 書類審査実施
- 1月16日(月) 最終審査(プレゼンテーション審査)

#### お問い合わせ先

財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部長	長谷部 亮	Tel 045-225-3711
経済局 中小企業振興部 経営・創業支援課担当課長	斉田 裕史	Tel 045-671-2579

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。